

LearnOSM

OpenStreetMap イントロダクション

情報にはチカラがあります。

個人やコミュニティが日々の暮らしを少し便利にするためには、有用な情報を正しく理解することが必要です。また、これから起きるかもしれない事柄に対して準備をするためにも、情報を得ておくことはたいへん重要となります。

現在、私たちの日々の生活には、多くの組織や人々が関わっています。

例えば政府や NGO、そして NPO や個人といったそれらの人々が良質な情報を得ることができれば、各々の組織や個人は判断をしやすくなり、結果として、私たちの日々の生活は少しずつ便利になるはずです。



地図とは、私たちの世界をシンボルとして視覚化したものです。誰かに自分のアイデアを伝えるとき、言葉で説明するよりも地図の上に示すほうが説明しやすいことはよくあることでしょう。

この問いかけはいわば、重要な質問への回答を導く鍵となります。

ここから一番近い学校施設や病院の位置はどこなのでしょう。

それらの施設へゆくには、どこへ連絡すればよいのでしょうか。

あるいは、生活が困窮している住民が多い地域はどこなのでしょう。

こういった質問に対しては地図をもって答えるのがもっともわかりやすいでしょうし、なおかつ、実際に地図を書くことで解決への糸口がつかめることもよくあることでしょう。

[illegible]

また、あなたが描いた地図には、何らかのシンボルが描かれていることでしょう。

3



あなたが描いた地図には情報が埋め込まれています。

コミュニティで問題が発生した時、あるいは単純に、誰かに助言を求める場合など、あなたが誰かに地域の説明をする場合はこのような手書きの地図が使われることでしょう。

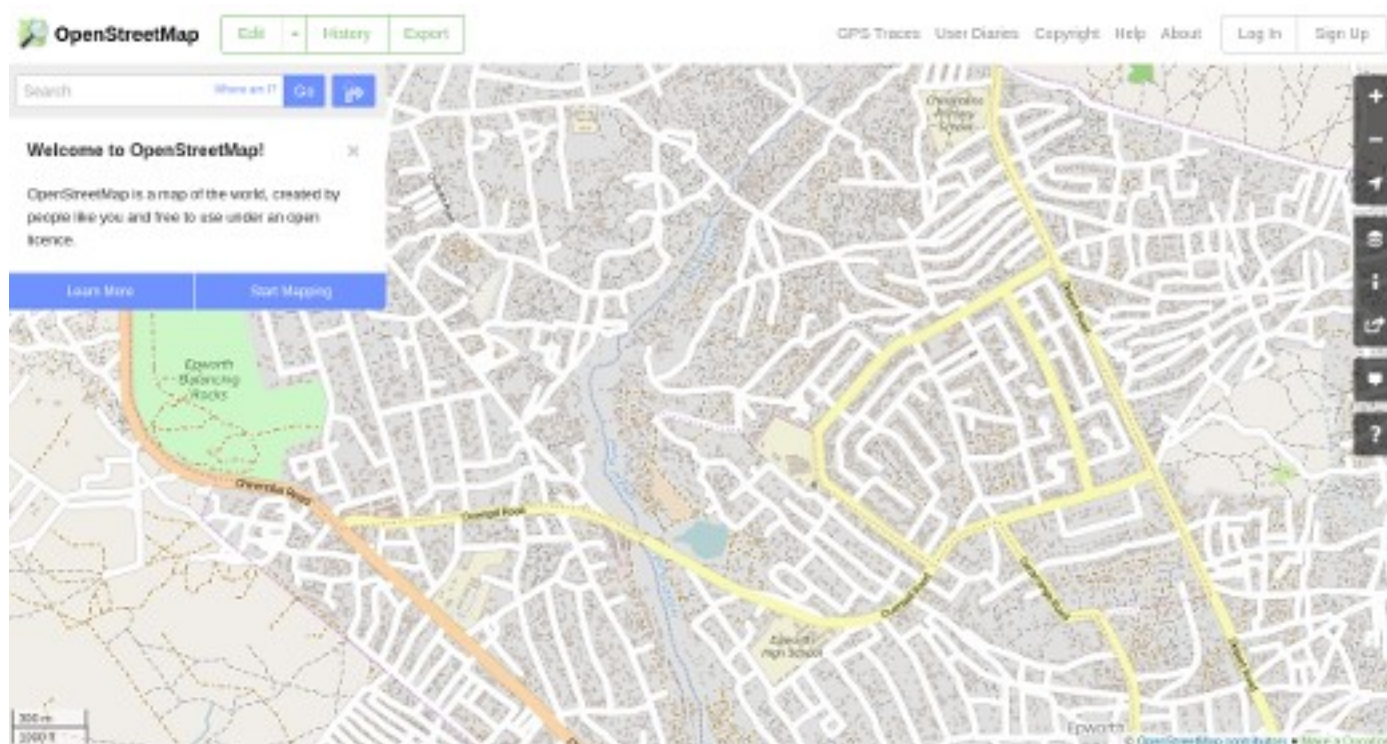
しかしながら、あなたの描いた地図の使い道はとても限定的です。その地図は1枚だけしかありませんし、さらに、あなたの観点による記述はあなたにとってのみ価値があるものです。異なった観点をもつ他の誰かにとって、あなたの地図がそのまま意味を持つとは限りません。あなたの描いた地図は、そのままでは紙の上に描かれた単なる点と線に過ぎず、他の人がそこから情報を得ることは困難なのです。

そこでコンピュータ上の地図の出番です。コンピュータの上に描かれることによって、地図は誰もがアクセスできるものとなり、その価値を増します。



OpenStreetMapとは地図そのものを作成し、さらに地図に描かれたさまざまな情報を共有するためのツールです。OSMへは誰でも手を加えることができます。そして実際、毎日数千人もの人たちが、このプロジェクトへの加筆修正を加えています。

このプロジェクトの地図は、紙ではなくコンピュータの上に描かれます。しかし、このガイドの中で紹介されているように、コンピュータを使った地図の描き方と紙の上での描き方に大きな違いはありません。土地の利用方法や道路などを示すには線を描きますし、学校や病院を表すにはシンボルを使います。重要なのは、OSMはインターネットの上に保存され、誰しものがアクセスでき、すべてが自由(フリー)である、ということです。



OpenStreetMap があなたの活動にとって興味深く使いやすいものになるように、そしてさらに、このガイドを手引きとして、あなたもまた OSM というデジタル地図を描くようになってもらえることを、私たちは願っています。

この章は役に立ちましたか？ [ガイドの改善にご意見ください](#)

- learnosm@hotosm.org
- [@learnOSM](#)
- [Hosted on Github](#)

[CC0](#)

Official [HOT OSM](#) learning materials